

**平成30年第4回雲仙市議会定例会**

**市長報告  
(開会)**

**平成30年11月29日**

**雲仙市長 金澤 秀三郎**

## 【ジュニアスポーツにおける活躍について】

10月12日から14日にかけて「第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会」が開催され、中学3年生及び2年生が対象となるB区分男子砲丸投で国見中学校の稲本喬弘さんが3位入賞を果たされました。

また、10月14日に「第21回全日本小学生女子相撲大会」が開催され、土黒小学校の岑やえとさんが、見事優勝の成績を収められました。

さらに、11月23日から25日に「平成30年度 東京都知事杯 第9回全国中学生選抜レスリング選手権大会」が開催され、男子85kg級において国見中学校の稲本喬弘さんが準優勝、女子73kg級において同校の内野杏美さんが3位入賞の成績を収められました。

心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待いたしております。

## 【第69回長崎県民体育大会について】

11月10日から11日にかけて開催された「第69回長崎県民体育大会」において、雲仙市選手団は、19競技、

総勢492名の方が出場し、団体競技では、卓球一般女子の部、ソフトテニス成年女子の部及び成年Ⅱ部において、また、個人競技では、レスリング60kg級で小林哲也様が、陸上競技男子40歳から44歳砲丸投で増田龍二様が、見事優勝という素晴らしい成績を収められました。

雲仙市の代表として出場された選手の皆様のご活躍を称えますとともに、なお一層のご活躍を期待いたしております。

### **【平成30年度「現代の名工」について】**

11月12日、厚生労働大臣が卓越した技能者を表彰する本年度の「現代の名工」に、瑞穂町の造園工 宮本秀利様が受賞されました。

今回の受賞は、造園の技能を活かした街づくりなどの取り組みが高く評価されたものと伺っております。

今後におきましても、これまで培ってこられました技術・技能を後世に伝えられ、後進技能者の育成にご尽力されますことをお願い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## 【平成30年度ながさき農林業大賞の受賞について】

11月18日、「平成30年度ながさき農林業大賞」表彰式が開催され、野菜部門において、有限会社松山ファーム様が「長崎県知事賞」を、吉田良一・律子様「運営委員会会長賞」を受賞されました。

また、産地集団部門において、島原雲仙農協 雲仙ブロッコリー一部会様が「長崎県知事賞」を受賞されました。

今回の受賞は、地域の特性を活かした先進的な農林業を展開され成果を上げられていることが高く評価されたものであり、本市の農林業の振興に繋がるものと考えております。

## 【第31回全日本マーチングコンテストについて】

11月18日に開催された「第31回全日本マーチングコンテスト」に九州代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の皆様が、今大会で連続15回の全国大会出場という偉業を成し遂げられたなか、見事12回目となる「金賞」を受賞されました。

このことは、部員皆様の日頃の練習や努力の成果と、指導者をはじめとする関係者皆様の熱意の賜物であると思つて

おります。

市民の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

### **【平成30年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰について】**

11月21日、小浜町の宅島イツミ様と国見町の村木孝子様より「平成30年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」受賞の報告をいただきました。

今回の受賞は、長年にわたる「食」を通じた健康づくりのボランティア活動が高く評価されたものと伺っております。

今後におきましても、市民の健康増進に向けた取り組みをお願い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

続きまして、主な市政の取り組み等について、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき報告させていただきます。

### **【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】**

地域防災体制の強化につきましては、10月28日、市民一人ひとりの防災意識の向上と市及び関係機関、自主防災組

織の防災力向上を目的とした「雲仙市防災訓練」を実施いたしました。

ご協力いただきました市民の皆様、関係機関の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も、防災力の強化に取り組んでまいります。

消費者保護につきましては、11月17日、平成30年度消費者トラブル防止講演会を開催し、講演や寸劇を通じて消費者トラブルの防止を呼びかけました。

今後も、消費生活に関する意識啓発に努めてまいります。

## **【基本方針2「産業と交流」の分野について】**

生産基盤の整備につきましては、10月31日、農地基盤整備事業のPR活動として、大塚小学校3年生を対象とした「おおつかっ子探検隊」が開催されました。

この事業は、本市の「山田原第2地区 基盤整備事業」を題材として開催され、現地見学や野菜収穫を体験しながら、本市の基幹産業である農業の課題を学ぶとともに、地元への愛着心を育てる学習の機会となりました。

今後も、様々な機会を通じて農業生産基盤整備事業の積極

的な推進を図ってまいります。

生産性向上とコスト縮減につきましては、現在、無人航空機ドローンによる農薬散布の実用化に向け研究を進めているところではありますが、去る11月19日、長崎県に対し、無人航空機ドローンを用いた農薬散布に係る農薬の早期登録が出来るよう、雲仙市・島原雲仙農業協同組合・ブロッコリー農家代表の連名により要望を行なったところでございます。

今後も、規模拡大に伴う農業の所得向上に資する労力軽減に向け、生産者と一体となって取り組んでまいります。

商業の振興につきましては、11月22日、「雲仙市中小企業振興会議」から「雲仙市中小企業振興施策に関する提言書」が提出されました。

市といたしましては、この提言書に基づき、関係機関との連携及び協力を図りながら、中小企業振興策を総合的、かつ、計画的に推進し、実現可能な施策から速やかに取り組んでまいります。

企業誘致と起業支援につきましては、10月11日、全国でホテル・旅館を運営されております湯快リゾート株式会社

様と企業立地協定を締結しました。

同社は、本年3月に閉館したホテルの土地・建物を購入され、改修されたうえで、10月17日に「湯快リゾート 雲仙温泉 雲仙東洋館」として営業を開始されました。

今後につきましても、更なる雇用の拡大と地域経済の活性化に繋がる企業誘致の推進に取り組んでまいります。

魅力的な観光商品の造成につきましては、11月10日から11日にかけて、島原半島ジオパークの日本ジオパーク認定10周年記念シンポジウムが開催され、島原半島の未来を考える講演やジオツアー等が行われました。また、併せて島原半島ジオマルシェが開催され、本市を含む島原半島の魅力が発信されました。

今後も、様々な地域資源を活用した持続可能な観光地づくりに取り組んでまいります。

情報発信・プロモーションの強化として、雲仙ふるさと大使につきましては、10月24日、市内の食材を使ったレシピの考案をはじめ、講演会や現地視察を通して生産者との交流を行っておられます株式会社ゆとりの空間代表取締役社長の「栗原心平」様に就任いただきました。

栗原様のこれまでの豊富なご経験により、雲仙市の活性化への助言をいただくと共に、本市の魅力を広くPRしていただけるものと期待しております。

また、10月31日、昨年に引き続き、長崎への高い送客実績がある中国上海市の「中信旅行社」を訪問し、より一層の送客をお願いし、また、今回初めて中国富裕層向けの高額旅行商品を取扱う「ザナドゥ社」を訪問し、島原半島の全体の魅力をお伝えしてまいりました。

今後も、引き続き、中国をはじめとするアジアからの観光客の誘致活動に積極的に取り組んでまいります。

多様な交流の実現につきましては、11月3日から4日にかけて開催された、鹿児島県霧島市の「霧島ふるさと祭り」、また、香川県土庄町の「土庄町大商業まつり」に雲仙市ブースを設けていただき、本市の特産品販売や観光PRなどを行いました。

なお、12月2日に開催予定の雲仙市産業まつりに、両市町とも特産品の販売やPRを行っていただくこととなり、引き続き交流を図ってまいります。

### **【基本方針 3 「社会基盤と環境」の分野について】**

主要道路の整備につきましては、雲仙市・島原市・南島原市で構成します愛野・小浜バイパス建設促進期成会として、島原半島3市の市長、議長とともに、11月13日、長崎県知事、長崎県議会議長、自由民主党長崎県支部連合会、長崎河川国道事務所長に対し要望を行い、また、11月19日には九州地方整備局長、さらに、11月20日には地元選出国會議員、国土交通省、財務省に対し要望を行いました。

今後も関係機関と連携しながら、愛野・小浜バイパスの早期事業化と、国道57号における現道改良の早期整備の実現に向け要望を行ってまいります。

### **【基本方針 4 「人財と郷土」の分野について】**

文化財の保護・活用につきましては、愛津原地区基盤整備事業に伴い発掘調査を行なっている「火箱遺跡」において、弥生時代中期から後期頃の溝や住居跡、土坑墓などの集落跡が発見され、さらには雲仙市では初めてとなるガラス小玉や、勾玉等が確認されたことから、11月11日、現地説明会を開催し、多くの市民の皆様にご参加いただきました。

今回の出土遺物は、島原半島の弥生時代を研究するうえで貴重な資料であり、引き続き、調査、研究を深めてまいります。